

## 釧路市子ども遊学館 —道東の宇宙教育の拠点を 目指して—

多 胡 孝 一

〈釧路市子ども遊学館 〒085-0017 釧路市幸町 10-2〉

e-mail: tago@kodomoyugakukan.jp

釧路市子ども遊学館は、2005年7月に開館した児童館機能と科学館機能を併せ持つ社会教育施設です。「遊びと学びの交差点」をキーワードとして設計された当館は、館内に参加体験型の展示が多数設置され、また、毎月、工夫を凝らしたイベントが数多く開催されます。

正面玄関に入ってすぐの無料ゾーンには、国内最大級の屋内砂場があり、道東の寒い冬でも、室内はポカポカと暖かく、子どもたちが汗だくになって遊んでいることもあります。

その屋内砂場の上に浮かぶ、大きな白い卵型の球が、プラネタリウム「スターエッグ」です。

2005年1月に閉館した旧釧路市青少年科学館でもプラネタリウムは人気がありましたが、当館でも主要な事業分野の一つとして天文事業が位置



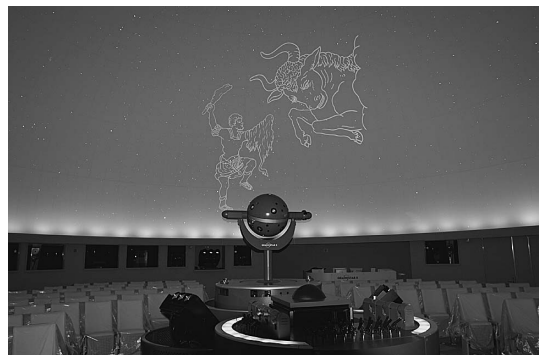
づけられ、日々のプラネタリウム投影を中心にさまざまな活動を行っています。

当館のプラネタリウムは、担当職員による20分の生解説と、後半25分のオート番組からなり、最大の特徴は番組の自主制作です。番組の企画から、シナリオ作り、ナレーション録音、音声編集、映像作成、プログラミングなど全ての工程を天文担当の職員が分担して行います。また、当館の設立理念の一つが「市民協働」であるため、地元劇団の方にナレーションをお願いしたり、地元放送局のスタジオをお借りして録音したり、美術館等の近隣施設にご協力いただいてイラストを作成したりと、地域と結びついた活動を行っています。

投影機が「ジェミニスター II」という世界でここにしかない、ちょっと変わった機械なので、番



ガラス張りの釧路市子ども遊学館外観。



26万個の星を映し出すプラネタリウム。



移動天文車「カシオベヤ号」。

組制作や維持管理の面でたいへんなこともありますが、星空の素晴らしさを伝えるために、工夫を重ねながら頑張っています。

旧青少年科学館より引き継いだ移動天文車「カシオベヤ号」を使って、天体観測会も行っています。市内の人通りの多いショッピングセンターなどで自由参加の「星空キャラバン」やお祭りでの「太陽観測会」、学校や町内会などの団体からの申込みによる出張観測会「星空宅配便」を行い、本物の星空の美しさを気軽に感じて頂いています。

これらの天体観測会においても、当館主催の「天文指導員養成講座」を修了した天文指導員（ボランティア）さんたちが、より充実した事業となるように活動してくれています。

最近では、JAXA 宇宙教育センターや地元大学、高専、小中学校の先生方と連携して「道東科学教育支援ネットワーク」（DoToねっと）を作り、学校現場の先生方をサポートする事業も始めました。（<http://www.npo-kyss.org/dotonet/>）

このほか、JAXA や国立天文台などにご協力いただいて天文講演会を行うなどさまざまな天文普及事業を行っています。

北海道東部には釧路湿原や知床半島などたくさんの自然があります。その道東で数少ない科学館として、地域の皆さんと協力しながら、星空の素晴らしさや宇宙の神秘を、少しでも多くの方に感じていただき、そこから得られる科学の面白さを知っていただけるように活動しています。ぜひ、



お祭りでの「太陽観測会」。

皆さんも「遊びと学びの交差点 釧路市こども遊学館」にお立ち寄りください！

釧路市こども遊学館

〒085-0017 釧路市幸町 10-2

TEL: 0154-32-0122, FAX: 0154-32-2033

e-mail [mail@kodomoyugakukan.jp](mailto:mail@kodomoyugakukan.jp)

URL <http://kodomoyugakukan.jp>

・休館日 毎週月曜日

（月曜日が祝日の場合はその翌日

※4月29日から5月5日までの期間、市内小中学校の春休み・夏休み・冬休みの期間は休館日なし）

12月31日から1月5日

・開館時間 9:30 から 17:00（入館 16:30）

・観覧料

展示室 小・中学生 100 円、高校生 200 円、  
大学生・一般 500 円

プラネタリウム 小・中学生 100 円、高校生  
150 円、大学生・一般 400 円

・アクセス

●徒歩の場合

JR 釧路駅から徒歩 8 分

●バスの場合

北陸銀行停留所で下車、徒歩 5 分

合同庁舎停留所で下車、徒歩 1 分

●釧路空港からバスご利用の場合

釧路駅までバスで約 45 分